

(様式2)新規評価シート

建設部 都市・まちづくり課

事業名		街路事業		路河川名等	(都)役場通り線					
事業毎の通番		2	市町村名	富士見町	箇所名(ふりがな)	富里(とみさと)				
事業概要	事業目的	当該道路は、富士見駅から町役場、病院等、公共施設間を結ぶ生活道路となっているが、現道には歩道がなく、町からは安全に通行できるよう歩道設置の要望がある。 平成19年度より、当該路線に接続する3.4.3北通り線(町道)において都市計画決定幅16mでの整備が完了しており、当該路線の整備によって、良好な都市環境の形成を図るものである。								
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり		事業実施の根拠法令等	都市計画法					
	関連する事業、計画等	しあわせ信州創造プラン、富士見都市計画区域マスタープラン								
	保安対象・範囲 受益対象・範囲	受益対象(不特定多数):計画交通量 6,508台/日								
	着手年度	平成28年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	1.7	国庫	456,500	83,000	261,450	29,050	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路改築工 L=360.0m、W=6.0(12.0)m			830,000	456,500	83,000	261,450	29,050	
	年度事業内容(主な工種)	用地買収 A=400m ² 物件補償 N=1戸			146,000	80,300	14,600	45,990	5,110	
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	交通の円滑化及び交通安全の向上 歩道設置による歩行者の安全の確保							
		間接的効果(定量的・定性的)	交通の円滑を図ると共に、安全で安心して通行できる道路を整備することで、既成市街地の人口流出抑制並びに定住化を図る							
評価の視点	必要性	○計画自動車交通量 : 6,508台/日 ○交通結節点アクセス : 交通結節点を結ぶ路線。「JR富士見駅」への1次アクセス道路 ○地域の活性化 : 駅前商店街等の活性化に資する							評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 しあわせ信州創造プラン、富士見都市計画区域マスタープラン ○緊急輸送路の路線指定 県緊急輸送路(2次)に路線指定							評価	A
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.7 ○事業期間 : 5年間 ○代替案の検討 : 構造物、舗装における施工コスト縮減の検討							評価	A
	緊急性	○渋滞対策・混雑度:0.51 ○通学路対策:平成25年度合同点検要対策箇所							評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者以外にも周知(H26.9.16事業説明会を開催) ○地域の取り組み : 住民説明会時に要望あり ○住民との協働 : 住民参加型の事業(街路樹の維持管理方針について自治会と協議中)							評価	B
	部意見	当路線は、駅と役場や病院といった公共施設を結ぶ重要な路線であるが、歩道が未整備であることから、必要性、重要性が高く、事業の実施が必要である。	行政改革課意見	富士見市街地で交通量が多く公共施設も集中しており、通学路、緊急輸送路であることから、重要性が高く、緊急性も認められる。	評価結果	○	総合評価	A		

【位置図、平面図、構造図等】

位置図



平面図



【状況写真等】



事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該道路は、富士見駅から町役場、病院等、公共施設間を結ぶ生活道路となっているが、現道には歩道がなく、危険な状態である。 また、当該路線に接続する3.4.3北通り線(町道)が都市計画決定幅16mでの整備が完了しており、良好な都市環境の形成を図るため、町の中央通りとなる当該路線の早期整備が求められている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本事業区間は、付近に商業施設集積している。また、付近の小学校の通学路となっており、歩行者の保護が求められている。このため、歩行者の安全な歩行空間の確保を要望されている。
③事業説明等の経緯	平成26年9月16日に住民説明会を実施している。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	富士見都市計画区域マスタープランにおいて商業地区に位置づけられている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	街路樹の維持管理方針について自治会と協議中である。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、付近の商業施設等の活性化も期待される。 なお、周辺に町民センター等の公共施設が集中していることから、公共施設の利用増加にも期待できる。
⑦その他	○平成25年度に構造物、舗装における施工コスト縮減の検討を行っている。 事業代表地点の緯度経度 北緯:N 35° 54' 51" 84 東経:E 138° 14' 29" 45